

海老名災ボラ情報 No.10：2021年4月以降の予定と3月の活動報告

2021年4月17日発信、文責：海老名災ボランティアネットワーク代表・福田博

【1】今後の予定：2021年4月中旬～8月夏休み、5月15日の定期総会を中心に

政府は、2021年4月16日に神奈川県、埼玉県、千葉県、愛知県に「まん延防止等重点措置」を追加適用することを決定した。期間は4月20日（火）から5月11日（火）の3週間で、神奈川県での対象地域は、横浜市、川崎市、相模原市の3市となる。

「まん延防止等重点措置」は緊急事態宣言に準ずる措置で、飲食店等の時間短縮要請・命令などを発することができる。この措置で効果がなければ、緊急事態宣言を発令することもあり得る。

上記の状況を踏まえて、海老名災ボラの今後の日程を次のようにします。皆様のご協力を！

① 4月25日（日）、午前10時～12時、4月定例会をZoom ミーティングで実施

テーマ：5月15日の定期総会での議案書（案）の確認を得る。

定例会終了後に、下記の文書を全会員（個人会員、賛助会員、団体会員）に送信・送付する。

《全会員に配布すべきもの》2021年度定期総会資料、書面議決書、会費納入のお願い

メーリングリスト及び郵便（8部程度）を利用する。できるだけ連休が終わる前に集める。

② 5月15日（土）に第20回定期総会を書面議決方式で実施

★それまでに、メーリングリスト及び郵便などで、会員（個人会員、賛助会員、団体会員）の書面議決書を集める。会員総数の過半数の書面議決書が集まり、集まった書面議決書の過半数の賛成が得られれば、議案は可決。

★2021年度第1回の定例会を5月15日（土）13時～15時に開催

海老名市文化会館 351 多目的室（定員 64 名）13 時～15 時を予約した（1200 円支払済）。会場が利用できない状況であれば、Zoom ミーティングに変更して、定例会を実施する。

2) 「新型コロナ禍での災害ボランティアセンターの設置・運営」に関する訓練の開催

3月21日（日）に「新型コロナ禍での災害ボランティアセンターの設置・運営」学習会を開催した。4月以降～（時期は未定）に、感染防止対策を実施した上で、海老名市文化会館（休館日に開催）で実施訓練を行うことを社協と協議している。（主催：海老名社協、協力：海老名災ボラ、危機管理課）

3) 海老名市ボランティア連絡協議会関係

① 2021年度、ボラ連の定期総会：5月14日（金）10時～、福祉会館第1・2会議室

参加対象は新旧のボラ連メンバーと参加団体からの参加希望者。終了後に第1回定例会を開催。

② ボランティアグループ活動助成金交付の申請書を提出 5月21日（金）までに提出

提出書類：令和3年度ボランティアグループ活動助成金交付申請書に記載し（7万円）、総会資料と会員名簿を添付して申請する。（2021年度役員が提出、以下同じ）

③ 令和3年度「ボランティア活動入門講座」実施予定表の提出、5月28日まで

海老名災ボラは、実施予定を提出して来なかった（2020年度はコロナ禍で中止）が、2021年度からは、提出する方向で検討している。（2021年度役員が提出）

4) 「海老名災害ボランティアネットワークだより No.37」の発行

「ネットワークだより」は、これまで年2回（6月1日と12月1日）の発行ということで、市から紙の支給（5500枚）と自治会回覧で、危機管理課の了解を得てきた。この日程だと、印刷作業や梱包作業が5月15日の定期総会と重複し大変なので、危機管理課（川崎さん）に7月に

1 日発行への変更を要請しました。「危機管理課」が担当課（「地域づくり課」）と話して、変更できました。今後、災ボラ「ネットワークだより」自治会回覧は、7月と12月になりました。

「海老名災ボラっとワークだより No.37」（2021年7月1日発行）の日程

① 6月23日以前に、No.37号の印刷原稿（データ）と、「各自治会宛の表書き」を印刷しておく：危機管理課からもらったデータを基に「差し込み印刷」（⇒野中さん）で表書きを印刷。

印刷は福祉会館の印刷機を利用してきた（事前に印刷機と梱包作業のための部屋の予約が必要）。社協に当日、印刷代として数千円を払う、紙は危機管理課より支給（印刷当日に市役所に行く）。

② 6月23日午後3時までに：印刷原稿（データ）を危機管理課⇒地域づくり課へ提出する。

③ 6月24日午後3時までに：印刷・自治会別に梱包したものを市役所地下に配備する。

（福祉会館から市役所まで車で運搬する。軽車両が必要）

5) 「海老名っ子スクール」（旧「サマースクール」）2021年夏休み：依頼があった小学校で実施

事務局：教育委員会学び支援課に、「令和3年度海老名っ子スクール」アンケートを提出（1月）
災ボラは「地震発生時の緊急避難行動訓練」（シェイクアウト訓練応用編）を提出した（2019年7月23日実施：有鹿小学校と24日：東柏ヶ谷小学校で実施したものと同一）。

【2】活動報告 2021年2月14日以降～3月21日まで

3月22日に1都3県の緊急事態宣言が解除された。3月22日以降、市福祉会館も開館した。

1) 海老名災ボラ定例会：3月21日（日）10時～12時30分 Zoom方式で実施（3回目）

3月21日（日）10時～12時30分：Zoom（福田博主催 Zoom ミーティング）で開催。計14名

【参加】吉野、永山、三宅、黒田、野中、水本、嶋原やわた・義弘、松井、星野、松井、鷺見、石橋、石丸

① 海老名災ボラ2021年度の定期総会（第20回定期総会）に向けた討論10時～11時頃

討論資料：2021年度定期総会の資料（「たたき台」）を参照（メールリストで事前に送信＋郵送）
テーマ：2020年度「コロナ禍の中での災ボラ活動をふりかえって

出された意見（要点）は「海老名災ボラ情報 No9」を参照。参加者のほぼ全員が発言した。

② 「コロナ禍での災害ボランティアセンターの設置・運営」に関する学習会：11時頃～12時30分頃

討論資料：「コロナ禍での災害ボランティアセンターの設置・運営の討論資料（修正1）」を参照。

出された意見（要点）は「海老名災ボラ情報 No9」を参照。

③ 4月（4月4日～日）、会計監査：2020年度の会計（松井、小澤）と会計監査（永山、野本）

会計と会計監査の間の「書類持ち回り」（関係書類の郵送、2020年度と同様）で実施した。

④ 海老名市ボランティア連絡協議会：4月2日役員会：出席、三宅、4月9日定例会：出席、水本

2) 社協関係：ボランティア保険について

海老名災ボラは、2018年6月1日に「海老名市ボランティア連絡協議会」に加盟した。6月であったため、ボラ連加盟団体への社協からの助成金も、社協費用によるボランティア保険（基本タイプAプラン）への加入もなかった。2019年度から社協からの助成金とボランティア保険の加入が実施された。社協との話し合いで、社協費用によるボランティア保険加入者は、個人会員と、災ボラ事業に参加実績のある賛助会員と団体会員代表とした。2021年度の社協費用によるボランティア保険への加入者は、個人会員（市長、副市長、県議員を除く）28名、賛助会員（石丸さん）、団体会員代表（小沢さん）で計30名の名簿を社協に提出した（2021年3月）。今後も、天災タイプへの加入は個人で登録する。

保険の登録カードを本人が所持していなくとも、社協の名簿に記載されていれば、保険適用の申請ができることになっている。

以上